

平成30年度 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会

事業報告

【概況報告】

日本の総人口は、2008（平成20）年の約1億2,808万人をピークに人口減少が進む中、高齢化社会はますます加速し、我が国がこれまでに経験したことのない状況を迎えています。

それらの中で、高齢者や障がい者、子育て世代や生活困窮者などを取り巻く課題が顕在化してきています。

本会では、それら顕在化してきた課題を解決していくため、市民のみなさん、みどり市と社会福祉協議会が手を携えて進める「第2期地域福祉活動計画」のもと、諸施策を展開してきました。

特に本年度は、次期地域福祉活動計画策定に向け、市民のみなさんの貴重なご意見を反映すべく住民座談会を開催し、多くのご参加をいただきました。

一方、本会組織の強化の観点から理事専門部会を設置し、今後の本会の体制や事業について方向性を見出していくことといたしました。この専門部会は、令和元年度も引き続き取り組んでいくものです。

主な取り組みとして、高齢者の生活支援体制整備事業では、市域の課題を解決すべく第1層協議体と町域の課題に対応していくための第2層協議体を設置して、高齢者をはじめとする市民のみなさんの生活課題解決のための仕組みづくりに努めてきました。

安心支援事業では、新たなモデル地区が加わり事業が拡大いたしました。

地域包括支援センターや介護事業所では、介護や介護予防支援などの人数が伸び、それに対応する職員の資質の向上にも傾注いたしました。

障害者福祉センターでは、利用者への支援をしていく中で、就職準備のための事業所として効果をあげてきました。

学童保育事業では、子どもの健全な育成と子育て支援を進めてきました。その利用者の声を聞く中で、これまで以上に保護者や関係機関との信頼関係の構築・情報共有の必要性が喫緊の課題として求められています。

生活困窮者への支援では、ハローワークや法テラスなどとの連携により今まで以上にきめの細かい支援に心がけてきました。

ここに、改めて市民のみなさんをはじめ、ご支援・ご協力をいただいた関係各位に感謝申し上げるとともに、今後とも地域福祉の推進のため一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、事業報告といたします。

- 凡例
- ※1 各種事業の詳細は、付属明細書として記載しています。
 - ※2 表中にある（ ）内の数字は前年度との比較を示しています。
 - ※3 「社会福祉法人みどり市社会福祉協議会」を「みどり市社協」と表記しています。

■ 法人運営

(成果)

- 1 理事専門部会を設置し、会長からの諮問事項を検討の上、一部答申した。
 - (1) 総務部会 組織機構の見直し
 - (2) 地域福祉部会 権利擁護事業の今後の展開
- 2 定款施行細則の制定と他の規程の改正を行い、健全な法人運営に努めた。
- 3 理事会の際に全員協議会を行い、円滑な会議運営に努めた。

(課題)

- 1 役職員研修について、県社協などの研修参加はあったが、内部研修ができなかった。
- 2 業務執行にあたり、具体的な業務マニュアルの作成が不十分であった。

1 理事会の開催状況

【第1回理事会】平成30年6月6日(水)みどり市笠懸保健センター

報告第1号 みどり市社協 理事・評議員の交替について

議案第1号 平成29年度 みどり市社協 事業報告の承認について

議案第2号 平成29年度 みどり市社協 決算の承認について
監査報告について

議案第3号 みどり市社協 部会規程（理事専門部会）の制定について

議案第4号 みどり市社協 定時評議員会の開催について

【第2回理事会】平成30年8月30日(木)みどり市笠懸保健センター

報告第1号 みどり市社協 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

報告第2号 みどり市社協 新年度予算に向けてのみどり市との折衝結果について

議案第1号 みどり市社協 理事専門部会の設置について

【第3回理事会】平成30年11月30日(金)みどり市笠懸保健センター

議案第1号 みどり市社協 事務処理規程の改正について

議案第2号 みどり市社協 理事（常務理事）の退任に伴う新たな理事候補者について

議案第3号 みどり市社協 収支補正予算について

議案第4号 みどり市社協 第2回評議員会の開催について

【第4回理事会】平成30年12月17日(月)みどり市笠懸保健センター

議案第1号 みどり市社協 常務理事の選定について

【第5回理事会】平成31年1月29日(火)みどり市笠懸保健センター

- 議案第1号 みどり市社協 収支補正予算について
議案第2号 みどり市社協 定款施行細則の制定について
- 議案第3号 みどり市社協 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について
議案第4号 みどり市社協 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第5号 みどり市社協 第3回評議員会の開催について

【第6回理事会】平成31年3月19日(火)みどり市笠懸保健センター

- 報告第1号 みどり市社協 障害者福祉センター施設長の任用に係る専決処分
の報告について
報告第2号 みどり市社協 会長及び常務理事の職務執行状況の報告につい
て
報告第3号 社会福祉法第56条第1項に基づく平成30年度指導検査結果につい
て
報告第4号 みどり市社協 理事専門部会の審議結果について
報告第5号 みどり市社協 訪問入浴ステーションの休止について
- 議案第1号 みどり市社協 事務局長退職に伴う後任の事務局長の任用につ
いて
議案第2号 みどり市社協 役員の任期満了に伴う次期役員の構成について
議案第3号 みどり市社協 定款施行細則の制定について
- 議案第4号 平成31年度 みどり市社協 事業計画の策定について
議案第5号 平成31年度 みどり市社協 収支予算の設定について
議案第6号 みどり市社協 平成30年度第4回評議員会の開催について

2 評議員会の開催状況

【第1回評議員会】平成30年6月26日(火)みどり市笠懸保健センター
(定時評議員会)

- 報告第1号 みどり市社協 理事・評議員並びに顧問の交代について
- 議案第1号 平成29年度 みどり市社協 事業報告の承認について
議案第2号 平成29年度 みどり市社協 決算の承認について
監査報告について
議案第3号 みどり市社協部会規程(理事専門部会)の制定について

【第2回評議員会】平成30年12月17日(月)みどり市笠懸保健センター

議案第1号 みどり市社協 理事の退任に伴う新たな理事の選任について

議案第2号 平成30年度 みどり市社協 収支補正予算について

【第3回評議員会】平成31年2月13日(水)みどり市笠懸保健センター

議案第1号 平成30年度 みどり市社協 収支補正予算について

議案第2号 みどり市社協 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について

【第4回評議員会】平成31年3月28日(水)みどり市笠懸保健センター

報告第1号 みどり市社協 障害者福祉センター施設長の任用について

報告第2号 みどり市社協 事務局長退職に伴う後任の事務局長の任用について

報告第3号 社会福祉法第56条第1項に基づく平成30年度指導検査結果について

報告第4号 みどり市社協 理事専門部会の審議結果について

報告第5号 みどり市社協 訪問入浴ステーションの休止について

議案第1号 平成31年度 みどり市社協 事業計画の策定について

議案第2号 平成31年度 みどり市社協 収支予算の設定について

3 監事会の開催及び社会福祉法第56条第1項に基づく指導検査

(1) 監事会

平成30年 5月25日(金) みどり市社協本所
法人の業務監査と会計監査

(2) 社会福祉法第56条第1項に基づく指導検査

平成31年1月25日(金) みどり市笠懸保健センター
法人運営及び経理事務ほかの検査

4 理事専門部会の開催

(1) 第1回

① 総務部会 (10/31)

ア 組織機構の見直しについて
イ 今後の方向性について

② 地域福祉部会 (10/30)

ア 権利擁護事業の現状と課題について
イ 権利擁護事業の今後の方向性について

(2) 第2回

① 総務部会 (12/17)

- ア 組織図(例)の検討
- イ 他市との組織の比較

② 地域福祉部会 (12/17)

- ア 日常生活自立支援事業の流れについて
- イ 他市との業務の比較について
- ウ 本会の検討課題について

(3) 第3回

① 地域福祉部会 (1/29)

- ア 成年後見制度について
- イ 答申について

(4) 答申 (3/12)

① 地域福祉部会から会長への答申

5 正副会長常務理事会議の開催

- 第1回 平成30年4月11日
- 第2回 平成30年5月15日
- 第3回 平成30年6月12日
- 第4回 平成30年7月17日
- 第5回 平成30年8月21日
- 第6回 平成30年9月12日
- 第7回 平成30年10月15日
- 第8回 平成30年11月13日
- 第9回 平成30年12月14日
- 第10回 平成31年1月8日
- 第11回 平成31年2月12日
- 第12回 平成31年3月12日

みどり市社協

6 第三者委員会の開催

平成31年2月6日(水) みどり市社協

7 その他の会議への出席

- ・市町村社協会長会議
- ・桐生地域自殺対策連絡会議
- ・学童保育担当者会議
- ・みどり市高齢者虐待対応・認知症高齢者支援ネットワーク推進会議
- ・日常生活自立支援事業基幹社協管内事務担当者会議
- ・日常生活自立支援事業生活支援員連絡会議
- ・みどり市支援調整会議
- ・生活困窮者自立相談支援機関情報交換会
- ・生活困窮者自立支援制度担当者会議
- ・生活困窮者自立支援制度関係新任職員研修打ち合わせ会議
- ・生活困窮者自立支援制度従事者養成研修打ち合わせ会議
- ・みどり市図書館協議会
- ・群馬県福祉作業所連絡協議会総会及びブロック別打ち合わせ会議
- ・市町村等認知症施策担当者会議
- ・ヘルパー会議

- ・ 第3期みどり市地域福祉活動計画事務局内検討会議
- ・ 地域福祉（活動）計画地区別座談会
- ・ みどり市地域ケア推進会議
- ・ 医療介護連携調整実証事業桐生地域「病院・ケアマネ全体会議」
- ・ 医療介護連携調整実証事業桐生地域「ケアマネ代表者会議」
- ・ 在宅医療介護連携センターきりゅう運営会議
- ・ 在宅医療・介護連携に関する情報交換会
- ・ 生活支援体制整備事業打ち合わせ会議
- ・ 生活支援体制整備事業準備会
- ・ 指定地域密着型通所介護事業所 デイサービス心音運営推進会議
- ・ 指定地域密着型通所介護事業所 デイサロン心音運営推進会議
- ・ 指定地域密着型通所介護事業所 デイサービス笑々運営推進会議
- ・ 高齢者虐待講演会打ち合わせ会議
- ・ 地域包括支援センター管理者会議
- ・ 地域包括支援センター全体会議

8 委員会等への参画

- ・ 桐生地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- ・ 群馬県共同募金会配分委員会
- ・ 群馬県共同募金会評議員会
- ・ 群馬県内社協職員連絡協議会役員会
- ・ みどり市民生委員推薦会
- ・ 社会福祉法人チハヤ会（は一とふるチハヤ）評議員会
- ・ 社会福祉法人美幸会（かさかけの里）評議員会
- ・ みどり市子ども子育て会議
- ・ みどり市介護認定審査会
- ・ みどり市障害者介護給付費認定審査会
- ・ 群馬県共同募金運動改革推進検討委員会
- ・ みどり市社会を明るくする運動推進委員会
- ・ 多職種連携合同研修会実行委員会
- ・ みどり市要保護児童対策地域協議会
- ・ みどり市地域包括支援センター運営協議会
- ・ 桐生地域リハビリテーション推進協議会
- ・ みどり市高齢者生活福祉センター入居判定委員会
- ・ みどり市認知症初期集中支援チーム検討委員会

- 9 役員研修の実施、参加
・ 市町村社協トップセミナー

10 職員研修の実施、参加

【法人運営関係】

- ・ 年末調整説明会
- ・ 平成30年度市町村社協経理研修会
- ・ 平成30年度福祉施設等新任職員研修
- ・ 平成30年度福祉施設等中堅職員研修
- ・ 群馬県内社協職員連絡協議会パワーアップ研修会
- ・ 群馬県内社協職員連絡協議会総会及び研修会
- ・ 防火管理者講習
- ・ ハラスメント対策・働き方改革関連法セミナー
- ・ 群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員研修会Ⅰ（基礎編）

【地域福祉関係】

- ・ 日常生活自立支援事業専門員等研修会
- ・ 平成30年度地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会
- ・ 平成30年度多職種連携合同研修会
- ・ 生活支援コーディネーターフォローアップ研修
- ・ コミュニティソーシャルワーク実習
- ・ 生活支援コーディネーター情報交換会
- ・ 包括的支援体制構築事業ブロック研修会

【ボランティア育成支援関係】

- ・ 市町村社協災害VC・災害支援担当者連絡会議

【児童福祉関係】

- ・ 放課後児童支援員認定資格研修
- ・ 防火管理者講習
- ・ 教育支援活動コーディネーター等研修会

【援護関係】

- ・ 生活困窮者自立支援制度講演会
- ・ 群馬県生活困窮者自立支援制度新任職員研修

【生活福祉資金関係】

- ・ 生活福祉資金担当者研修会
- ・ 生活福祉資金貸付事業・市町村事務局長会議

【共同募金関係】

- ・ 平成29年度共同募金配分式及び配分業務説明会
- ・ 平成30年度共同募金会支会分会連絡会議
- ・ 平成30年度支会分会事務局長・担当者連絡会議
- ・ 「地域の多様な課題に対応した地域配分を考える」勉強会

【介護事業関係】

- ・平成30年度医療介護連携調整実証事業 桐生地域「病院・ケアマネ全体会議」
- ・平成30年度自立支援型地域ケア個別会議に係る市長村及び介護事業所向け研修
- ・平成30年度多職種連携合同研修会
- ・医療と介護の連携についての情報交換会
- ・群馬県介護支援専門員協会 桐生・みどり支部研修会
- ・みどり市介護支援専門員研修会
- ・「ケアマネわたらせの会」桐生・みどり支部研修会
- ・介護保険居宅介護支援事業者説明会（集団指導）
- ・介護保険事業所苦情処理研修会
- ・主任介護支援専門員更新研修

【施設管理運営】

- ・AED講習会

【地域包括支援センター】

- ・平成30年度ケアマネ研修会（講演会）
- ・平成30年度多職種連携合同研修会
- ・2018年講演会 in伊勢崎（エフビー介護サービス）
- ・平成30年度包括的・継続的ケアマネジメント支援業務に関する研修会
- ・介護予防支援従事者研修
- ・地域包括支援センター職員基礎研修
- ・養護者による高齢者虐待対応現任者研修
- ・多職種で学ぶ実践事例検討会
- ・介護支援専門員更新研修
- ・認知症サポーターキャラバン・メイト養成研修
- ・2018年世界アルツハイマーデー記念研修会
- ・桐生市自立支援型模擬地域ケア会議
- ・多職種連携合同研修会
- ・初任者研修
- ・一ヶ谷町社協見学
- ・認知症サポーターステップアップ講座指導者養成研修

【障害者福祉センター】

- ・相談支援専門員従事者専門コース別（スキルアップ）研修
- ・発達障害支援者研修（基礎編）オブザーバー
- ・群馬県特別支援学校桐生みどり地域総合支援ネットワーク相談会
- ・群馬県相談支援専門員協会相談支援従事者等研修会
- ・相談支援従事者現任研修
- ・発達障害研修会（講師として参加）
- ・発達障害相談支援サポーター研修報告会（報告者として参加）
- ・発達障害相談支援サポーターフォローアップ研修
- ・発達障害相談支援サポーター連絡会議
- ・群馬県相談支援事業所集団説明会
- ・障害支援区分認定調査員研修
- ・食品衛生責任者講習

■ 近隣社協との連携

(成果)

- 1 桐生市社協との連携により事業を実施するとともに、互いの広報紙に情報を掲載した。

(課題)

- 1 桐生市以外の社協との連携が不十分であった。

1 近隣社協との連携

県内社協と情報交換を密にし、桐生市社協の間では連携事業に取り組んだ。

(高校生ボランティアスクール、介護職員初任者(旧ホームヘルパー2級)課程養成講座、社協結婚相談婚活パーティー、小中学生夏休みボランティア体験スクール、社協広報紙の掲載)

■ 広報・啓発

(成果)

- 1 社協だよりだけでなく、市広報、各種新聞などの媒体を用いて広報することができた。

(課題)

- 1 紙面のページを増やすなどして、多くの情報提供をしたい。

1 社協広報紙「みどり市社協だより」の発行

身近な福祉情報の発信として、毎戸に配布した。紙面では、タイムリーな情報の掲載や提供をし、文字だけでなく写真やイラストなども使い、見やすく読みやすい工夫を行った。

	発行日	発行部数
第 47号	平成 30年 7月 5日	19,200 部
第 48号	平成 30年 9月 5日	19,300 部
第 49号	平成 30年 12月 5日	19,300 部
第 50号	平成 31年 3月 5日	19,300 部

2 ホームページによる情報発信

広報啓発として、ホームページのより積極的な活用を進めるため、タイムリーな情報発信に努めた。

3 各施設における広報啓発活動の推進

施設の活動紹介等、情報提供を行い、施設の理解を深めることと利用の推進につながるように努めた。

①親老児童館

「児童館だより」(月刊)の発行 全 12 回

②笠懸東学童クラブ

「学童クラブだより」(月刊)の発行 全 12 回

4 各種事業における周知・啓発

より多くの方へ周知できるよう市広報等を活用し、時宜を捉えた事業紹介や啓発活動を行った。

【市広報紙掲載】

平成30年 6月号 親子ふれあい交流事業参加者募集
障害者福祉センター つばさまつり
生活困窮者自立支援事業 相談窓口のご案内

平成30年 9月号 家族介護者リフレッシュサロン参加者募集
みどり市敬老旅行参加者募集
心身障がい者療育訓練事業参加者募集
若年ひとり親家庭等の集い参加者募集

平成30年10月号	赤い羽根共同募金協力依頼 若年ひとり親家庭等ディズニーランド旅行参加者募集 生活困窮者自立支援事業 相談窓口のご案内
平成30年12月号	家族介護者リフレッシュサロン参加者募集 歳末たすけあい募金協力依頼 朗読奉仕員養成講座受講生募集
平成31年 2月号	手話体験教室 生活困窮者自立支援事業 相談窓口のご案内 若年ひとり親家庭との交流会参加者募集
平成31年 3月号	共同募金お礼と報告

○毎号掲載	無料相談コーナー ・心配ごと相談、行政相談、人権相談 ・法律相談（弁護士相談） ・高齢者相談 介護予防教室のお知らせ
-------	--

【その他】

桐生タイムス	6月22日	スーパーDステーション大間々店から寄附
〃	7月5日	手話講習会入門編
〃	10月31日	松源寺ゴルフクラブから寄附
〃	12月18日	みどり市福祉スポーツ大会
〃	1月21日	手話体験教室
〃	1月26日	朗読奉仕員養成講座
〃	2月28日	手話体験教室
〃	3月12日	笠懸ライオンズクラブから寄附
〃	3月18日	笠懸町地区福祉部会レクリエーション交流会

【かたくりの湯の情報掲載】

情報誌掲載

(株)昭文社まっふるマガジン編集部	『まっふるマガジン まっふる群馬20』
(株)ニューズ・ライン社	『おでかけ群馬2019-2020』
朝日印刷工業(株)	ぐんラボ!
株式会社JTBパブリッシング	るるぶ

5 その他

○福祉ぐんま（発行：群馬県社会福祉協議会）の配布
年4回（4月・8月・10月・2月）

○生活困窮者自立支援事業ポスターの掲示依頼

昨年度依頼していない市内の施設や店舗等に追加の掲示依頼を行った。

■ 調査・研究

各事業で参加者等を対象としたアンケートを実施し、事業の改善や住民ニーズの把握に努めた。把握した情報を今後の事業展開に役立て、各種事業の充実を図りたい。

■ 地域福祉事業

(成果)

- 1 地域福祉活動計画の策定に向けて、市と連携しながら地域課題の把握に努めた。

(課題)

- 1 今後高齢化率や精神障がい者数が増えていくことが考えられることから、日常生活自立支援事業や成年後見制度などの権利擁護事業を市民に周知啓発していく必要がある。
- 2 福祉スポーツ大会では開催時期の見直しの要望がある。また、事業の継続についても検討していく必要がある。

1 地域福祉活動推進事業の実施

地域内において、住民参加により主体的に取り組む地域福祉活動の推進が図られることを目的に、行政区を単位に支援を図った。支援をする側が高齢になり、担い手が少なくなっている中で一人暮らし高齢者宅への見守りや声かけ等の支援が活発に行われた区が多かった。継続して人と人とのつながりが希薄化しないよう、必要時には行政区への情報提供や活動支援を行っていききたい。

実施地区	市内各行政区（全32区）
実施主体	行政区
協力機関	福祉部、婦人会、各種団体

2 心配ごと相談所事業

住民のあらゆる心配ごとの相談に応じ、適切な助言指導を行い、相談者の社会生活の支援と福祉の向上が図れるよう実施した。引き続き、相談しやすい窓口としての対応をしていく。

地区	開設日数	相談件数
笠懸	23日(±0)	103件(+13)
大間々	12日(±0)	37件(-5)
東	12日(±0)	4件(-4)
合計	47日(±0)	144件(+4)

3 地域住民グループ支援事業

誰もが住み慣れた地域において健康で生き生きとした生活が築けるよう、また身近な地域において福祉組織グループが互助・自助活動できるよう支援した。地域住民の主体的かつ継続的な介護予防事業への取り組み活動を支援した。東部ブロック研修会では大間々地区の方が事例発表者として発表に関わるなど日頃の活動を多くの方に知っていただく機会となった。今後も実施団体の活動周知と支援を行う。

実施グループ数	19団体(±0)
延実施月数	125月(-1)
延参加者数	ボランティア 274名(-15)
	高齢者 2,307名(-80)

4 入れ歯リサイクル事業

地域福祉活動の財源確保と環境改善活動を推進することを目的に、福祉貢献事業として、使わなくなった入れ歯を回収し、昨年度とほぼ同額の収益が得られた。今後も広報紙、介護予防教室等にて住民への周知を図っていく。

入れ歯回収個数	49 個 (+14)
宝飾品回収件数	0 件 (-29)
回収量	493 g (-188)
回収益金	15,274 円 (+91)

5 日常生活自立支援事業の支援

判断能力の不十分な高齢者や障がい者の在宅生活における契約行為や福祉サービス利用の支援を図るため、生活支援員並びに基幹社会福祉協議会（桐生市社会福祉協議会）と連携し情報共有することができた。何件か新規問合せがあり訪問や相談を重ねたが、本人の意向が変わり利用に繋がる方はいなかった。利用者数も29年度末23名いたところ死亡等により30年度末には17名と利用者が減った状況である。引き続き生活支援員並びに基幹社会福祉協議会との連携をとり問合せがあった際には迅速な対応を図っていききたい。

地 区	当年度末利用実人数		生活支援員総数	従事生活支援員数
笠 懸	認知症高齢者	4 名 (-1)	46 名 (±0)	11 名 (-1)
	知的障がい者	3 名 (±0)		
	精神障がい者	4 名 (±0)		
大間々	認知症高齢者	1 名 (-1)	51 名 (-1)	5 名 (-2)
	知的障がい者	1 名 (-1)		
	精神障がい者	3 名 (±0)		
東	認知症高齢者	0 名 (±0)	5 名 (±0)	1 名 (±0)
	知的障がい者	0 名 (±0)		
	精神障がい者	1 名 (±0)		

6 社会を明るくする運動への協力

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くことを目的とした事業の協力を行った。犯罪や非行の防止とともに立ち直りを支える社会作りのために一人ひとりが考え参加するよう広報等による啓発を行っていく。

主 催	みどり市社会を明るくする運動推進委員会
期 間	平成30年 7月 1日～ 7月31日（強調月間）
内 容	住民集会への協力（7月1日）、横断幕・のぼり旗の提示、啓発品の配布

7 軽スポーツ用具貸出事業

福祉に対する理解を深め、健康増進や福祉組織化に寄与することを目的に、軽スポーツ用具を無料で貸し出し、各種大会、講習会、総合学習、レクリエーションなどに活用していただいた。市民の交流に活用していただけるよう、事業の啓発に努めていきたい。

用具名	貸出件数	延貸出日数
羽根っこゲーム	5件 (-9)	21日 (-12)
ペタンク	1件 (±0)	1日 (±0)
ビンゴボードゲーム	9件 (-5)	36日 (-1)
輪投げ	13件 (-4)	55日 (+10)
ナンバーストライクゲーム	6件 (±0)	26日 (+1)
カーリングゲーム	2件 (±0)	5日 (±0)
バレード	0件 (±0)	0日 (±0)
ターゲットゲーム	3件 (-1)	12日 (-8)
エレクトリックダーツ	1件 (-1)	1日 (-3)
ラダーゲッター	3件 (±0)	13日 (-10)
オーバルボール	3件 (±0)	8日 (-9)
競馬でGO	0件 (±0)	0日 (±0)

8 福祉体験用具貸出事業

福祉に対する理解・関心を深めることを目的に、福祉体験用具を貸し出し、総合学習等に活用していただいた。より多くの市民が体験を通じ、高齢者や障がい者の特性を学び、福祉教育の推進を図れるよう事業の周知に努めていきたい。

用具名	年間貸出数
高齢者疑似体験用具（もみじ箱）	33セット (-26)
簡易点字器	0個 (-54)
白杖	10本 (+10)
アイマスク	10枚 (-25)
車イス	0台 (-7)

9 みどり市福祉スポーツ大会（第6回）

市民相互の親睦と交流を深め、健康で明るく豊かな市民生活を図ることを目的に、それぞれ多様な分野で活動されている市民が一堂に会し、スポーツやゲームを通じて楽しい一日を過ごした。

実施日	平成30年12月9日（日）
実施場所	みどり市民体育館
参加者数	358名 (-34)、28機関・団体 (-1)

10 第3期みどり市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

令和2年度からの第3期計画を策定するため、みどり市と連携して地域の福祉課題の把握に努め、その解決策を検討した。

実施内容	実施日・期間等
住民アンケート調査	平成30年6月1日～6月29日 3,000人
第1回策定懇談会	平成30年7月24日
事業所アンケート調査	平成30年8月20日～9月7日 全141ヶ所
第1回地域福祉地区別座談会	平成30年10月12日～10月26日 全5回 126人参加
第2回策定懇談会	平成30年12月18日
関係団体ヒアリング調査	平成31年1月17日～3月18日 全16団体
第2回地域福祉地区別座談会	平成31年2月1日～2月15日 全5回 123人参加
第1回事務局内検討会議	平成31年3月26日

1.1 区長会との連携協力

各種事務事業の推進と実施にあたっての支援と協力を求め、地域福祉の向上が図られるよう適宜協力依頼等にあたった。

行政区の役員等との連携をさらに深め、地域との相互協力体制を強化していきたい。

1.2 民生委員児童委員協議会との連携協力

各種事務事業の推進と実施にあたっての支援と協力を求め、地域福祉の向上が図られるよう適宜協力依頼等にあたった。

地域福祉をさらに推進するため、民生委員との連携を強化していきたい。

1.3 各種福祉団体への活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について育成支援を行った。

各種福祉団体の社会性がより高まるような活動支援に努めたい。

■ ボランティア育成支援事業

(成果)

- 1 ボランティアに関する新たなチラシ作成を行い、ボランティア斡旋に工夫して取り組んだ。

(課題)

- 1 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルに沿った訓練を検討できなかった。

1 ボランティア養成講座

ボランティア活動に活かせる知識、技能の習得や資質の向上を図ることを目的に、活動に関心のある方や実践者などを対象に講座を開いた。継続的な活動につながるよう、ニーズに合った養成講座を開催する。

○夏休み小中学生ボランティア体験スクール

開催期間	全 4 回 (平成30年8月8日、8月10日、8月18日、8月21日)
会 場	笠懸老人憩の家他
受講者数	14 名 (+2)
修了者数	13 名 (+1)

2 善意銀行

市民から寄せられる善意に基づく金銭や物品の受け入れ並びに活用のための払い出し業務を実施した。リサイクル預託品（プルトップ）は車椅子と交換することができた。ペットボトルキャップへの異物混入は減っているもののまだ徹底されていない。今後も定例で実施している異物の選別ボランティアの参加等も含めた周知活動を続けていく。

現金	預託金額	891,917 円 (-1,498,989)
	預託件数	29 件 (-7)
	払出金額	219,113 円 (+39,113)
物品	預託件数	29 件 (+5)
	払出件数	15 件 (+3)
リサイクル品	使用済切手、使用済テレホンカード、プルトップ、ペットボトルキャップなど随時預託を受け付けた。	

3 ボランティア活動保険等の取り扱い事務

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動中の不慮の事故や賠償責任等に備えた保険制度の取り扱い事務を行った。市民が安心してボランティア活動に取り組めるように入会時の処理や事故対応を速やかに行っていきたい。

取り扱い内容	加入件数	事故件数
ボランティア活動保険	47 件 (+11)	1 件 (+1)
ボランティア行幸用保険	91 件 (+13)	1 件 (-2)
福祉サービス総合補償	14 件 (±0)	1 件 (+1)
送迎サービス補償	0 件 (±0)	0 件 (±0)
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	0 件 (±0)	0 件 (±0)

4 ボランティアセンター

ボランティア活動を希望する方とボランティアを求めている個人・団体・施設・機関等との調整並びに橋渡しをした。ボランティア団体のチラシを作成し可能な範囲で公開したところ、少しではあるがボランティア活動を増進することができた。わかりやすい情報公開を進めていく。災害時支援を想定して、災害備蓄品を整えた。

ボランティア登録者数	20 名 (+5)
ボランティア登録者団体数	26 団体 (+1)
コーディネート件数	18 件 (+7)

5 住民参加型在宅福祉サービス実施団体への支援

制度の狭間問題に対して、住民参加型在宅福祉サービスの柔軟性を活かし解決に向けた情報提供や支援を行った。ボランティアさざんかの会の周知を行い、利用者・会員の増員を図り活性化していく。

6 ボランティア団体等への活動支援

ボランティア連絡協議会や災害ボランティアの会をはじめ、ボランティア活動団体の運営及び活動の育成支援を行った。各団体が活発な活動ができるように、必要に応じて各団体同士を繋げながら活動を支援していく。

■ 在宅福祉事業

(成果)

- 1 配食サービス事業では延べ配食数が増え、在宅での食生活の支えと見守り支援に繋げることが出来た。
- 2 安心支援事業ではモデル地区が7行政区増加し、地域の支え合い活動が拡充した。

(課題)

- 1 安心支援事業の全域実施に伴い、新たなサポーターの発掘と育成が必要である。

1 みどり市安心支援事業

日常生活において支援が必要な在宅高齢者を、同じ地域で暮らす市民ボランティア（サポーター）が有償支援することで、高齢者やその家族が地域で安心して暮らせることを目的に、モデル事業として実施した。モデル地区が増えたため新規利用者は大きく増加した。新規サポーター申請者数は若干増えた。利用対象者への周知に併せサポーターの増員を図るための周知活動を行っていききたい。

※モデル指定地区：笠懸第2・4・7・9区、大間々第1・2・3・4・5・6・8・9・11・12・13・16・17区、東全域（1～5区）

地 区	モデル地区数	利用登録者数 (累計)	サポーター登 録者数(累計)	年間コーディ ネート数
笠 懸	4 行政区 (±0)	52 名 (+15)	35 名 (+2)	36 組 (+17)
大間々	13 行政区 (+7)	30 名 (+15)	30 名 (+12)	
東	5 行政区 (±0)	4 名 (+1)	3 名 (±0)	

2 配食サービス事業

在宅の独居高齢者や夫婦のみの高齢者世帯等に対し、心身の健康維持と見守り支援を行うことを目的に、ふれあい訪問の要素を踏まえつつ、生活援助としての配食サービスを実施した。（自己負担金あり）

関係機関と連携し、在宅での食生活の安定と見守り支援による孤独感の解消を図っていく。

地 区	配 食 日	実利用者数	実施回数	延べ配食数
笠 懸	月・木曜日	20 名 (-2)	104 回 (±0)	1,311 食 (+127)
大間々	月・木曜日	29 名 (+2)	104 回 (±0)	1,645 食 (+333)
東	火・金曜日	18 名 (±0)	101 回 (+2)	986 食 (-159)

3 訪問理容サービス事業

在宅の寝たきり等高齢者や重度障がい者に対し、衛生面の保持と在宅生活の支援を目的に訪問理容サービスを実施した。今後も衛生的な在宅生活が維持できるように訪問理容サービスを継続していく。

利用対象者	利用券支給実人員	利用された枚数
寝たきり等高齢者	33 名 (±0)	62 枚 (-4)
重度障がい者	25 名 (+4)	55 枚 (-1)

4 福祉車両貸出事業

在宅生活の支援と社会参加の機会の提供のため、介護を要する高齢者や障がい者に対して車イスのまま乗車できる福祉車両を貸し出した。多くの方が安全に利用できるよう車両の管理を徹底していく。またチラシ設置や社協だよりを活用し事業の周知を継続していく。

地 区	延利用者数	年間貸出日数
笠 懸	44 名 (-15)	80 日 (-62)
大 間 々	60 名 (+16)	80 日 (+12)
東	1 名 (±0)	1 日 (±0)
合 計	105 名 (+1)	161 日 (-50)

安心支援事業において、サポーターによる高齢者の通院や買物等の日常生活支援に寄与するため付き添い支援専用の福祉車両を貸し出した。前年度より延利用者数、貸し出し日数が増えている。サポーターが安心して安全に利用者の支援ができるように車両の適正な管理に努めたい。

地 区	延利用者数	年間貸出日数
笠 懸	64 名 (-21)	64 日 (-21)
大 間 々	84 名 (+64)	84 日 (+64)
東	0 名 (±0)	0 日 (±0)
合 計	148 名 (+43)	148 日 (+43)

5 日常生活用具貸出事業

在宅の重度障がい児・者や寝たきり高齢者等に対し、車椅子や介護ベッド等を貸し出し、家族等の介護負担軽減や在宅生活の支援を図ることを目的に貸出事業を実施した。今後も制度による給付や貸与が適用とならない状況の方の日常生活の便宜および自立生活向上を図り、在宅生活の支援を行っていく。

貸 出 品	地 区			貸出合計件数
	笠 懸	大間々	東	
ギャッジベッド	0 件 (±0)	0 件 (±0)	12 件 (-10)	12 件 (-10)
電動ベッド	2 件 (-2)	0 件 (±0)	0 件 (±0)	2 件 (±0)
車 椅 子	16 件 (-8)	25 件 (+3)	10 件 (-4)	51 件 (-9)

6 家族介護者交流事業(リフレッシュサロン)

常時在宅で介護する介護者に対し、介護の知識や技術を深めるとともに相談や適切な助言指導を行うことを目的に実施。参加者は増加傾向ではあるがまだ募集定員に満たないため、より多くの人に参加いただけるように実施内容や周知方法に工夫を加え、参加者相互の親睦とリフレッシュを図るための支援を行う。また参加者アンケート実施等でニーズに沿った事業を実施したい。

実 施 日	会 場	参加者数
平成30年10月19日	あしかがフラワーパーク	19 名 (+2)
平成31年 1月30日	大間々いきいきセンター	18 名 (+1)

■ 高齢者福祉事業 (成果)

- 1 高齢者の生活支援体制整備に向けて多様な主体が話し合う場「協議体」を市全域を対象とする第1層と各町圏域を対象とする第2層に設置することができた。
- 2 高齢者の生きがいと健康づくり事業の各種講座・大会で全体的に参加者数増となった。

(課題)

- 1 第1層・第2層とも協議体が活性化するように生活支援コーディネーターが中心となって支援していく必要がある。
- 2 老人クラブの会員人数が施設入所や死亡により年々減少している。70代でも仕事をしている方が多いため、会員増強していけるようにどのように支援していくかが課題である。
- 3 介護予防教室(サロン)の新規参加者・男性参加者獲得に向けた実施内容の充実を図り、併せて周知の強化及び周知方法の見直しでより多くの人にサロンへの興味を持ってもらうためのきっかけづくりを地道に行っていくことが必要である。

1 地域包括支援センター事業

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい尊厳のある生活を継続するため、要介護状態への予防（重度化防止）、介護、医療など様々なサービスを本人の状態に応じて提供することを目的に、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助及び支援を次のとおり包括的に実施した。

- ① 高齢者の様々な相談ごとに対応するための総合相談支援業務、権利侵害を受けたり生活が困難な状態にある高齢者等に対して専門性に基づく支援（認知症高齢者支援、高齢者虐待対応、成年後見制度申立て支援等）を行う権利擁護業務
- ② 支援困難ケースを抱える介護支援専門員が継続的に支援が行えるよう多職種による地域ケア会議
- ③ 関係者のネットワーク構築や介護支援専門員の資質向上を図るための包括的・継続的ケアマネジメント業務等

また、関係機関・団体等と共に、在宅医療と介護連携の推進、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等への連携・協力を行った。

指定介護予防支援事業や介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）に関しては、関係法令や市の方針に基づき、利用対象者に対して適切にサービス提供すると共に、その業務の一部を適切に居宅介護支援事業所に委託することにより行った。

成果としては、平成27年度から事業委託となり、3圏域に包括が設置されたことでより身近な相談窓口として認知され相談件数も増加している。

しかし、相談件数の増加と共に、寄せられる相談内容は複雑多様化しており、そのような相談に対応支援していくためには、様々な関係機関・団体、市民等との連携を更に強化し、地域包括ケアシステムの充実を図ることが必要であり今後の課題でもある。

○介護予防支援業務実績数（一部委託を含む）

	延べ実績数	金額
笠懸	2,147 件 (+128)	9,478,100 円 (+547,400)
大間々	1,921 件 (+36)	8,455,300 円 (+160,800)
東	375 件 (-60)	1,633,500 円 (-276,000)
計	4,443 件 (+104)	19,566,900 円 (+432,200)

○相談方法

	笠懸	大間々	東	計
来 所	105 件 (+42)	360 件 (+172)	153 件 (-31)	618 件 (+183)
訪 問	507 件 (+133)	439 件 (+59)	180 件 (-21)	1,126 件 (+171)
電 話	1,267 件 (+512)	1,220 件 (+357)	508 件 (+36)	2,995 件 (+905)
その他	35 件 (+35)	89 件 (+42)	297 件 (+102)	421 件 (+179)
計	1,914 件 (+722)	2,108 件 (+630)	1,138 件 (+86)	5,160 件 (+1,438)

○相談内容

	笠懸	大間々	東	計
介護保険サービス関係	753 件 (+195)	923 件 (+323)	647 件 (+2)	2,323 件 (+520)
高齢者福祉サービス関係	86 件 (+49)	69 件 (-13)	75 件 (+35)	230 件 (+71)
医療関係	137 件 (+100)	123 件 (+49)	121 件 (+39)	381 件 (+188)
認知症関係	208 件 (+91)	343 件 (+157)	21 件 (-9)	572 件 (+239)
成年後見	76 件 (+66)	55 件 (+22)	1 件 (±0)	132 件 (+88)
措置	25 件 (+23)	41 件 (+7)	0 件 (±0)	66 件 (+30)
日常生活自立支援	24 件 (+23)	7 件 (+4)	0 件 (±0)	31 件 (+27)
高齢者虐待	87 件 (+39)	65 件 (+22)	0 件 (-7)	152 件 (+54)
困難事例	138 件 (+10)	67 件 (+41)	13 件 (-44)	218 件 (+7)
消費者被害	0 件 (-2)	9 件 (-9)	0 件 (-1)	9 件 (-12)
その他	380 件 (+128)	406 件 (+27)	260 件 (+71)	1,046 件 (+226)
計(延べ)	1,914 件 (+722)	2,108 件 (+630)	1,138 件 (+86)	5,160 件 (+1,438)

2 敬老旅行の実施

健康で実りのある老後生活を過ごしていただくことを目的に温泉保養を実施し、健康保持及び増進、高齢者相互の交歓と親睦を図り、社会参加の促進と生きがいの高揚を図った。前年度より参加者数が11名増であったため、より人数が増えて盛大に開催できるように魅力ある行程プランの設定と周知の徹底を図りたい。

実施期間	平成30年11月6日～8日(全地区)
実施方面	宮城県秋保温泉
宿泊場所	緑水亭
参加者総数	171 名 (+11)

3 敬老行事地区事業の実施

地域住民が高齢者とのふれあいを通じ、地域における高齢者の見守りネットワークづくり推進や地域組織化を目的に実施した。資料作成や印刷などの支援を行った。引き続き必要に応じて情報提供や活動支援を行っていききたい。

対象者	概ね80歳以上の高齢者とその地域住民
補助対象者数	4,079 名 (+74)
実施地区	市内各行政区(全32区)
実施主体	行政区
協力機関	民生委員、福祉部、婦人会、各種団体等

4 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施

軽スポーツによる健康増進活動や文化教養活動の参加を通じて、高齢者の健康保持及び増進と社会参加の促進を図ることを目的に実施した。前年度行ったカラオケのチャンピオン大会や大間々でのカラオケ大会の実施ができていないが、全体的な事業の参加人数は前年度より上回っている。高齢化が進んでいるため引き続き活動の周知を行い、行わなかった事業を再度行うことでより多くの方が社会参加できるように努めていきたい。

対象者：市内在住の高齢者

①みどり市老連 各種スポーツ大会

種 目	実施期日	会 場	参加者数
グラウンドゴルフ大会	平成30年6月7日	大間々グラウンド	126名(-5)
ゲートボール大会	平成30年6月19日	笠懸グラウンド	36名(-7)
スマイルボウリング大会	平成30年6月27日	東社会体育館	80名(+3)
輪投げ大会	平成30年9月14日	みどり市民体育館	77名(-6)
新卓球大会	平成30年10月19日	みどり市民体育館	75名(+13)

②笠懸老人憩の家

実施内容	実施回数	参加者数
カラオケ大会	3回(±0)	延 85名(-6)
教養講座「あなたのための防災講座」	1回(±0)	14名(-11)
高齢者談話室(茶話会)	12回(±0)	延 155名(+7)

③老人福祉センター

実施内容	実施回数	参加者数
バンパープール大会	3回(±0)	延 81名(-23)
健康マージャン大会	2回(±0)	延 72名(+21)
将棋大会	1回(±0)	22名(+2)
まごころ♪のど自慢	2回(±0)	延 49名(+4)
ビニールバンド講座	46回(±0)	延 299名(+9)
健康マージャン講座	2回(+1)	延 45名(+21)
新卓球講座	2回(±0)	延 33名(+7)

5 介護予防教室(サロン)事業の実施促進

それぞれの地域で生活する高齢者が、要支援・要介護にならないよう自己啓発につながる効果的な予防活動に取り組み、生涯を通じて自立した暮らしを送れることを目的に実施した。広報紙掲載・行政区役員・民生委員等との連携強化により参加者増加を目指し、参加者の心身健康促進につながる内容の提供に努めていく。

地 区	実施回数	延参加者数
笠 懸	50回(±0)	1,135名(-25)
大間々	55回(±0)	916名(+27)
東	60回(±0)	542名(-63)
合 計	165回(±0)	2,593名(-61)

6 ひとり暮らし高齢者交流事業の実施

ひとり暮らし高齢者同士の交流や民生委員・ボランティアの方々との関わりを持つことで社会参加を促進し、地域との繋がりをつくることを目的に交流事業を実施した。今年度は、「健康で過ごす、食事と運動で気を付けたいこと」と題して健康づくり講座を開催し日頃の独居における不安解消の手助けをすることができた。

実施日	平成30年12月 3日
会場	みどり市高齢者生活福祉センター
参加者数	63名(-1)

7 生活支援コーディネート事業

協議体の設立のため、町域（笠懸町・大間々町・東町）を圏域とする第2層協議体、みどり市全域を圏域とする第1層協議体の設立準備会を開催し、全圏域で協議体を設立した。

協議体としての活動が継続できるよう、関係機関・団体等との連携・情報共有の調整に努めていきたい。

(1) 第2層協議体の設立

○笠懸地区

- ・平成30年10月23日（火） 第1回設立準備会
- ・平成30年11月27日（火） 第2回設立準備会
- ・平成31年 1月11日（金） 第3回設立準備会
- ・平成31年 2月22日（金） 第4回設立準備会

○大間々地区

- ・平成30年10月25日（木） 第1回設立準備会
- ・平成30年11月22日（木） 第2回設立準備会
- ・平成30年12月18日（火） 第3回設立準備会
- ・平成31年 1月17日（木） 第1回協議体
- ・平成31年 2月19日（火） 第2回協議体
- ・平成31年 3月20日（水） 第3回協議体

○東地区

- ・平成30年10月29日（月） 第1回設立準備会
- ・平成30年11月26日（月） 第2回設立準備会
- ・平成31年 1月21日（月） 第3回設立準備会
- ・平成31年 2月25日（月） 第1回協議体
- ・平成31年 3月27日（水） 第2回協議体

(2) 第1層協議体の設立

- ・平成31年 3月26日（火） 第1層協議体設立準備会

8 老人クラブへの活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について育成支援を行った。昨年度表彰規程を作り老連全体に周知したこと、大間々13区老人クラブの再開により80名近くの会員増となった。施設入所や死亡等による会員減と若い世代の入会に結び付かないことで会員が減少傾向にあるため老連役員と連携し会員増に努めていきたい。

■ 障がい者福祉事業

(成果)

- 1 心身障害者療育訓練事業では参加者の減少が課題とされていたなか、市内の通所型の知的障がい者福祉施設（A型・B型作業所）へも直接チラシを送付して周知の幅を広げたことにより参加人数の増加に繋げることができた。

(課題)

- 1 手話入門編の周知方法について社協だよりに折込チラシで毎戸配布していたが、平成30年度から開催時期を早めたことで毎戸配布できなくなった。その分受講者数も減少してしまったため、効果的な周知方法を検討する必要がある。
- 2 より多くの障がい者が喫茶ぺちやくちやの運営に関わっていけるように、担い手の発掘・育成の必要がある。また、今後も適切な運営を行っていくためにみどり市として合併以降開催されていない運営委員会を開催する必要がある。

1 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき、障がい者の社会との交流や自立した生活を支援することを目的に、相談支援事業やコミュニケーション支援事業を行った。また、市民の障がい者への理解が深まり支援の輪が広がるよう支援者の養成を行った。

①相談支援事業

年間相談（支援）件数	延べ 3,207 件 (+985)
計画相談等介護報酬他	3,017,280 円 (+328,910)

②手話言語普及推進事業

派遣内容	派遣人数	利用者数	
		団体	個人
手話通訳者派遣	340 名 (-11)	3 団体 (±0)	7 名 (-2)
要約筆記者派遣	11 名 (+11)	2 団体 (+2)	0 名 (±0)

③障害者意思疎通支援奉仕員養成事業

手話講習会 入門編

開催期間	平成30年6月27日～平成30年11月21日 全21回(毎週水曜日)
会場	笠懸保健センター 講習講座室、機能回復訓練室
受講者数	17 名 (-30)
修了者数	15 名 (-13)
協力団体	みどり市ろう者協会、手話サークルさくら草の会、群馬県認定手話通訳者

手話講習会 基礎編

開催期間	平成30年5月30日～平成30年11月21日 全25回(毎週水曜日)
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室、会議室
受講者数	19 名 (+2)
修了者数	14 名 (+1)
協力団体	みどり市ろう者協会

手話講習会 ステップアップ講座

開催期間	平成30年12月5日(水)～平成30年12月26日(水) 前半4回 平成31年 3月6日(水)～平成31年 3月20日(水) 後半3回
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
受講者数	13名(-12)
修了者数	13名(-12)
協力団体	みどり市ろう者協会

手話講習会 体験教室

開催期間	平成31年2月27日(水)
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
受講者数	32名(-2)
協力団体	みどり市ろう者協会、手話サークルさくら草の会、群馬県認定手話通訳者

朗読奉仕員養成講座

開催期間	平成31年1月24日～平成31年2月21日 全5回(毎週木曜日)
会場	笠懸保健センター 機能回復訓練室
受講者数	7名(-9)
修了者数	5名(-10)
協力団体	朗読ボランティア笠懸

2 心身障害者療育訓練事業

市内在住の心身障がい児・者への社会適応(社会体験)の機会の提供と社会生活力の向上や社会参加の促進を目的に訓練(交流体験)事業を実施した。参加者の減少が課題とされていたなか、今年度より市内の通所型の知的障がい者福祉施設(A型・B型作業所)への周知の幅を広げて、参加人数の増加に繋げることが出来た。

実施日	平成 30年 11月 17日
実施場所	新江ノ島水族館・江ノ島の散策
参加者数	19世帯 41名(+20)

3 視覚障がい者等録音テープ貸出事業

ボランティアグループの協力により作成される市広報等の朗読録音テープを、視覚による情報入手困難者に貸し出し、声による地域生活の支援を行った。利用者が減少しているが、必要な方に渡すよう関係事業所等へ声掛けを行っていく。

実利用者数	貸出の内容	
4名(±0)	みどり市広報	12回
	みどり市議会だより	4回
	みどり市社協だより	4回

4 つばさまつり

障害者福祉センターを広く市民のみなさんに知っていただき、障がい児・者への理解を深めるとともに、障がい児・者、ボランティアと地域住民の交流を図ることを目的に実施した。今年度は笠懸町地区福祉部会長会が協力団体として新たに参加いただき、まつりの運営と地域関係者との交流をより深めることができた。

実施日	平成30年 7月 7日
実施場所	みどり市障害者福祉センター
協力団体 (当日)	ボランティア9団体・ 笠懸町地区福祉部会長会・ 障害者福祉センター保護者会

5 思いやり駐車場利用証制度への協力

障がい者用駐車場の適正な利用を進める運動として、県と協定し、該当の申請者に対し障がい者駐車場の利用証の交付事務を行った。申請数は各地とも若干増加した。また、ロードポップサイン(置き型看板)を設置したことで利用の周知・啓発を行うことができた。引き続き社協だより等を活用し、利用の周知と市民への啓発を推進していく。

区 分	地 区			合 計
	笠 懸	大間々	東	
身体障がい者	1名(±0)	0名(±0)	0名(-1)	1名(-1)
知的障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
精神障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
高 齢 者	3名(+3)	4名(+3)	1名(+1)	8名(+7)
難 病 患 者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
妊 産 婦	6名(±0)	1名(+1)	0名(±0)	7名(+1)
合 計	10名(+3)	5名(+4)	1名(±0)	16名(+7)

6 福祉パレードへの協力

知的障害者福祉月間(9月)に実施される啓発事業への協力を行った。平成30年度は、みどり市手をつなぐ育成会が東毛地区及び桐生・みどり地区の幹事であった事からより連携を密にして啓発事業への協力を行った。

パレード実施期日	平成30年 9月 11日
参加団体・機関等	みどり市手をつなぐ育成会、市内小中高等学校、市内知的障がい者福祉施設等

7 障がい者喫茶室「ぺちやくちゃ」の運営支援

みどり市笠懸公民館内に設置している喫茶コーナーの運営を障がい者が行うことで、地域交流とふれあい活動の推進が図れるよう支援した。身障連の理事との連携を図りながら今後はより多くの障がい者が参加できるような環境づくりを行っていききたい。また、より適切な運営を行っていけるように運営委員会を開催していく。

開 店 日	毎週火曜日～土曜日
年間運営日数	251日(-2)
従 事 者	火・木曜日＝みどり市地域活動支援センター 水～土曜日＝みどり市身障者連盟
喫茶売上総額	1,265,750円(-42,650)

8 障がい者団体への活動支援

身障者連盟、手をつなぐ育成会等の運営や各種活動について育成支援を行った。

会の活動に興味を持った方からの入会はあったが、新規の会員が増えるような取り組みは行えなかった。今後も新規の会員が増えるよう役員と連携を図りながら検討していく。

■ 児童福祉事業

(成果)

- 1 親老児童館と笠懸東学童クラブでは、開設時間の変更により、全体的に利用者が増えた。

(課題)

- 1 学童保育事業において、一部保護者や関係機関との信頼関係を再構築する必要性が生じた。

1 児童健全育成活動の実施

親老児童館・笠懸東学童クラブを拠点に、児童健全育成活動及び世代間交流活動を年間を通じて実施した。

児童同士の関わりや高齢者との世代間交流を児童の安全に配慮しながら、活動を行った。

(1) 第1親老児童館(こだまクラブ・のぞみクラブ・はやてクラブ)

年間開館日数	293日(±0)
延べ利用人数	23,730名(+2,098)
平均利用人数	81.0名(+7.2)
協力高齢者の年間実人数	9名(-1)
高齢者職員会議の開催	12回(±0)

(2) 第2親老児童館(ひかりクラブ・やまびこクラブ)

年間開館日数	293日(±0)
延べ利用人数	17,568名(+399)
平均利用人数	60.0名(+1.4)
協力高齢者の年間実人数	9名(-1)
高齢者職員会議の開催	12回(±0)

(3) 第1笠懸東学童クラブ(宙クラブ・虹クラブ)

年間開館日数	292日(-1)
延べ利用人数	13,539名(-3,259)
平均利用人数	46.4名(-10.9)
協力高齢者の年間実人数	8名(-1)
高齢者職員会議の開催	12回(±0)

(4) 第2笠懸東学童クラブ(星クラブ)

年間開館日数	292日(-1)
延べ利用人数	12,384名(+2,547)
平均利用人数	42.4名(+8.8)
協力高齢者の年間実人数	8名(-1)
高齢者職員会議の開催	12回(±0)

2 地域子育てサロンの実施

子育てをしている保護者同士のふれあいと仲間づくり、情報交換の場(サロン)を開設し、孤立しがちな子育て家庭の不安の解消と地域連帯の醸成を行った。より多くの方に利用していただくため、より広い周知を図っていく。

実施日数	191日(±0) (月～金曜日。ただし、祝日及び小学校長期休業期間を除く。)
実施時間	午前10時から正午まで
実施場所	みどり市第1親老児童館
年間利用者	保護者 208名(+143)
	児童 203名(+126)

3 児童福祉週間の啓発協力

児童福祉週間(5/5～5/11)の啓発ポスターの掲示と啓発協力を行った。

4 学童・生徒の福祉教育活動推進事業

福祉教育活動や福祉体験活動の普及を目指し、市内小・中学校の申請に基づき、それぞれの特色を活かした体験的・実践的な福祉教育活動を通じて、児童・生徒への福祉の理解と向上に努めた。全校で活用していただけるように、各校に呼びかけていく。

実施内容	小学校	中学校
補助事業指定	7校(+1)	4校(-1)
福祉教育の支援	0校(±0)	1校(±0)

■ 母子寡婦福祉事業

(成果)

- 1 ひとり親世帯向けの事業企画会議や事業の中で若年層の世帯が参加しやすくなるような雰囲気作りに努めたことにより、活動実績を増やすことができた。
- 2 若年層のひとり親世帯と会員の高齢化が課題となっている母子寡婦会の連携を支援した結果、母子寡婦会の会員に若年層の会員が増え、会の活性化が図れた。

(課題)

- 1 母子寡婦会では依然として会員の高齢化が課題となっているため、若年層や父子の方の更なる加入増加を目指した活動の支援を進めていく必要がある。

1 若年ひとり親家庭組織化活動の支援

若年母子(父子)を中心に、母子寡婦団体関係者を交えて「若年ひとり親家庭の集い」実施に向けた企画会議や事業を通じ、組織化に向けた取り組みを行った。多くの世帯に参加していただけるよう周知活動を行い定着化を図る。

年間活動日数	6日(+1)
延べ参加者数	保護者 38名(+11)
	児童等 76名(+44)

2 若年ひとり親家庭の集いの実施

若年化の傾向とともに、様々な問題と不安を抱えるひとり親家庭の相互の研鑽と親睦を図ることを目的に実施した。若年母子（父子）世帯の意見を参考に事業を実施し、多くの世帯が交流できる場作りを目指す。

実施日	内容	参加者数
平成30年 5月20日	バーベキュー交流会	13 世帯 29 名 (+6)
平成30年10月28日	東京ジョイポリスへの旅	13 世帯 28 名 (-11)

3 親子ふれあい交流事業の活動支援

母子（父子）家庭相互の交流や情報交換、親子のふれあいの場を提供し、母子（父子）福祉の推進と母子寡婦団体の活動支援を行った。児童の健全育成と母子家庭等の自立促進を図る。

実施日	内容	参加者数
平成30年 7月22日～23日	上越市立水族博物館他	8 世帯 20 名 (-8)

4 母子寡婦会への活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について育成支援を行い若年層の会員が微増した。寡婦や母子家庭、父子家庭の支援も加えた会の活動の充実と若年層にも魅力ある活動に繋がる支援を行う。

■ 法外援護事業 (成果)

- 1 緊急的な支援が必要な世帯に対して適切に法外援護費を支給し、世帯の自立を支援することができた。

(課題)

- 1 法外援護費の支給申請書の様式で使われている語句を誰にでもわかりやすい表現に変えていく必要がある。また事務処理の迅速化を検討していきたい。

1 法外援護費支給事業

法令の適用が困難で、緊急的かつ福祉的援護を必要とする世帯に対して、支援することにより生計安定と社会生活を営めるよう援護費の支給を行った。

相談件数	支給世帯数	支給総額
8 件 (+5)	4 世帯 (+3)	153,000 円 (+103,000)

2 行路人貸付事業

移動等の経費に困窮する行路人に対し、必要最低限の交通費を貸し付けた。今後も支所との連絡を速やかに行い、二重貸付の防止に努めたい。

年間貸付件数	貸付総額
0 件 (-1)	0 円 (-500)

■ 援護事業
(成果)

- 1 生活困窮世帯相談窓口の案内記事を市広報紙や社協だよりへ定期的に掲載したことや、コンビニ、スーパー等へ事業啓発用ポスターの掲示依頼を行ったことで、新規相談者件数の増加に繋げることができた。
- 2 生活困窮世帯支援において行政や社協関係部署だけでなく、公共職業安定所や法テラスと情報交換を行うことで連携を密に図ることが出来た。

(課題)

- 1 生活困窮世帯からの新規相談件数は増加したが、各種情報提供や助言を行うことで解決に結びつくケースが多く、継続的な支援に結びつくケースが少なくなった。
- 2 住居確保給付金の制度案内を行ったケースでも、失業給付の活用で申請に至らないケースとなり、住居確保給付金の申請件数増加には至らなかった。

1 生活困窮者自立支援事業

生活困窮世帯が困窮状態から早期に脱却し、地域において自立した生活を営むことができるよう支援するため、関係機関との連携等により本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施。また、離職等により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある方に対しては住居及び就労機会の確保に向け、家賃相当額の金額を給付する住居確保給付金の申請受付事務を行った。

(1) 新規相談件数・支援申込件数・プラン作成件数

新規相談件数	56 件 (+7)
支援申込件数	1 件 (-3)
プラン作成件数※	4 件 (-1)

※再プランを含む。

(2) 支援方法

電話相談・連絡	85 件 (-16)
訪問・同行支援	10 件 (-19)
面談	73 件 (-3)
所内会議	0 件 (±0)
他機関との会議	2 件 (-1)
他機関との電話照会・協議	102 件 (-32)
その他	0 件 (-8)

(3) 住居確保給付金

申請種別	申請受付件数	決定件数
新規申請	1 件 (-2)	1 件 (-2)
延長申請	0 件 (±0)	0 件 (±0)
再延長申請	0 件 (±0)	0 件 (±0)

2 戦没者遺族援護事業

戦没者遺族の援護と相互交流を図ることを目的に事業を実施した。高齢化する遺族の状況を考慮し、遺族の方が参加しやすい事業を検討していきたい。

実施日	場所	参加者数
平成30年 5月18日	東京都内	53名(+2)
平成30年 10月16日	高崎市方面	41名(-5)

3 戦没者追悼式への協力

群馬県戦没者追悼式、みどり市戦没者追悼式への参加協力、実施協力を行った。戦後73年経過し、戦争の悲惨さを忘れることなく恒久平和を祈念するため、引き続き県追悼式の参加協力、市追悼式の実施協力を行っていきたい。

○群馬県戦没者追悼式

平成30年 8月15日 群馬県総合スポーツセンターぐんまアリーナ

○みどり市戦没者追悼式

平成30年 9月28日 ながめ余興場

4 交通遺児就学援助金給付事業

交通事故による遺児に対して、就学の援助と社会的人材育成の支援を目的に学資の一部を給付する体制をとった。今後も県社協との連携を取りながら迅速に給付できるよう事務処理を進めていきたい。

給付件数	給付金額
1件(±0)	50,000円(±0)

5 遺族の会への活動支援

会の運営や研修事業、各種活動について支援を行った。会議等で事業等の案内をし、円滑な事業実施に協力できるよう努めていきたい。

■ 福祉資金貸付事業

(成果)

- 1 小口生活資金貸付事業で、所在不明となっている償還金滞納者の居住地を洗い出し、世帯訪問を行って現状把握を行うことができた。

(課題)

- 1 行政の協力を得ても所在不明となっている世帯の現状把握や長期間返済が滞納している債権回収が課題となっている。

1 生活福祉資金貸付事業

経済的自立と生活意欲の促進を図り、世帯更生に寄与することを目的に、離職者・低所得者・障がい者・高齢者世帯の生活安定と自立を図るための群馬県社会福祉協議会が実施する各種資金の貸付に関する事務を行った。

近年、相談件数や貸付の決定件数は減少傾向となっている。貸付制度の該当にならない相談者も多くいるので、生活困窮者自立支援機関との連携をより密にし、別の支援策も提示できるようにしたい。

資金種類	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定額
総合支援資金	7件 (+5)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
福祉資金	9件 (+5)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
教育支援資金	1件 (-6)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
不動産担保型生活資金	0件 (-2)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
臨時特例つなぎ資金	0件 (±0)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)
緊急小口資金	13件 (-11)	11件 (+1)	11件 (+1)	550,000円 (+85,000)
その他	13件 (-7)			

2 小口生活資金貸付事業

一時的に困窮する低所得世帯に対し、経済的自立と生活意欲の促進を図り、世帯更生に寄与することを目的に、資金の貸付事業を行った。

近年、雇用情勢の回復を背景に相談件数等は減少傾向となっている。しかし、以前貸し付けした世帯のなかには未償還世帯も多くあるので、世帯の現状を把握していき生活困窮者自立支援機関との連携で自立へと繋げていきたい。

相談件数	申請件数	決定件数	当年度貸付額	償還完了
0件 (-1)	0件 (±0)	0件 (±0)	0円 (±0)	1世帯 (+1)

■ 共同募金事業

(成果)

- 1 社協配分のなかで、災害備品の整備として新たな配分を行い、災害ボランティアセンターの備蓄として非常食等を加えた。

(課題)

- 1 一般募金及び歳末たすけあい募金の配分事業がマンネリ化している。
- 2 おせち料理配食事業の対象者が年々増加していることもあり、調理場所の確保や経費、対象年齢の見直しの検討が必要となっている。また対象者が多いため高齢者に偏った配分となっている。

1 一般募金運動事業への協力

共同募金会みどり市支会が行う募金活動（地域・職域・団体・学校など広い分野での活動）に協力し、その配分金の活用についても連携協力した。

今後も市民の皆様にご広報紙等を用いて共同募金の周知を行い、募金活動理解をいただけるよう努める。

2 一般募金配分金事業

赤い羽根一般募金配分金及び前年度歳末たすけあい募金繰越金により地域福祉の充実を図るため、福祉活動を実施した。

今後も共同募金会みどり市支会との連携を密にしながら各種福祉事業を実施するための財源確保に努め、地域のニーズに沿った事業が行えるよう精査していく。

福祉育成援助活動費	130,000 円 (-44,000)
障がい児・者福祉活動費	323,719 円 (+193,719)
母子・父子福祉活動費	512,000 円 (-11,834)
ボランティア活動育成事業費	405,000 円 (+27,117)

3 歳末たすけあい募金運動事業への協力

共同募金会みどり市支会が、支援を必要とする人たちが地域で安心して新年を迎えられるよう、募金活動（地域・職域・団体・学校など広い分野での活動）に協力し、その配分金の活用についても連携協力した。

今後の配分事業については、時代によって変化していく地域のニーズを把握し、ニーズに沿った事業が実施できるよう更なる協力により精査していく。

4 歳末たすけあい募金配分金事業

地域歳末たすけあい募金配分金を、主に歳末に実施する各種事業に活用した。今後も共同募金会みどり市支会との連携を密にしながら各種福祉事業を実施するための財源確保に努め、地域のニーズに沿った事業が行えるよう精査していく。

障がい児・者施設歳末行事助成事業	26ヶ所 (+1)	505,724 円 (+15,324)
独居高齢者世帯等おせち料理配付事業	289世帯 (+28)	965,662 円 (+38,974)
独居高齢者世帯福祉カレンダー配付事業	1,415世帯 (+94)	87,912 円 (-15,768)
母子福祉活動促進事業		442,717 円 (-12,982)
児童福祉施設等歳末行事助成事業	23ヶ所 (±0)	825,400 円 (+600)
次年度の福祉サービス事業配分費		419,669 円 (+10,950)
募金実施事務費		6,944 円 (-3,640)

■ 在宅高齢者支援機関運営事業

(成果)

- 1 延相談件数の増加に伴い情報収集・関係機関への情報提供・各種サービス調整も増加させることができた

(課題)

- 1 一人暮らしの高齢者が地域から隠れた存在にならぬよう、インフォーマルサービスへの架け橋的役割の強化が必要である

1 みどり市在宅高齢者支援機関

在宅高齢者の支援機関として、調整や実態把握を通じて高齢者やその介護者、家族などに対し、総合的な相談に応じ、各種サービスの利用や連絡調整等の支援を行った。今後も行政区役員・地域住民・関係機関等との連携を図り、情報の共有化により実態把握調査の強化と高齢者の在宅生活がより充実したものになるよう支援していく。

地区	開設日数	延べ相談件数	実態把握調査件数
笠懸	365日 (±0)	450件 (+91)	172件 (-26)
大間々	365日 (±0)	459件 (-36)	225件 (-21)
東	365日 (±0)	457件 (-23)	86件 (-1)

■ 居宅介護等事業(介護給付・予防給付)

(成果)

1 介護保険制度改正に伴うサービス利用者への配慮ときめ細かな対応に努めた。

(課題)

1 訪問入浴事業の利用者が減少し、休止することになった。

介護保険法に基づき以下の事業(介護給付・予防給付)を提供し、要介護者や要支援者(以下、「利用者」という。)の在宅生活を支援した。

1 居宅介護支援事業

利用者主体のもとに介護相談、要介護認定申請代行、関係機関との連絡調整、介護計画(ケアプラン)作成、保険給付管理、介護予防、生活支援(住宅改修)など対象者への継続的支援を行ったが、施設入所や入院があり前年度と比較して予定の報酬額が下回った。今後は医療と介護の連携をより一層図り、利用者主体としたサービス提供に努めていきたい。

(居宅介護支援)

	延べ支援計画件数	居宅介護報酬額
居宅介護支援事業所笠懸	506 件 (-113)	5,783,880 円 (-1,380,740)
居宅介護支援事業所大間々	593 件 (+233)	7,129,890 円 (+3,005,930)
居宅介護支援事業所東	556 件 (-31)	7,254,840 円 (-279,710)

(予防給付支援)

	延べ支援計画件数	予防給付報酬額
居宅介護支援事業所笠懸	96 件 (+1)	412,800 円 (-4,700)
居宅介護支援事業所大間々	207 件 (+52)	911,100 円 (+229,600)
居宅介護支援事業所東	102 件 (-31)	441,600 円 (-146,600)

2 要介護認定調査業務

市の依頼に基づき介護給付費受給申請者のもとに訪問し、要介護認定にかかる調査業務を行った。今後も適宜実施していきたい。

	延べ認定調査件数	調査委託収入額
居宅介護支援事業所笠懸	0 件 (±0)	0 円 (±0)
居宅介護支援事業所大間々	17 件 (+1)	58,536 円 (+6,696)
居宅介護支援事業所東	76 件 (-24)	246,240 円 (-78,634)

3 訪問介護事業

介護給付対象の利用者に対し、身体介護や生活支援(家事援助)サービスを提供し、利用者の希望に即したサービス提供体制の推進に努めた。重度障害者が在宅から施設に移行になり減少もみられるが、利用者の拡充につながるよう実施していきたい。

◇訪問介護ステーション

	実利用人数(平均)	延べ訪問回数	介護支援報酬額
笠懸	23.8 名 (+1.0)	3,151 件 (-76)	12,701,400 円 (-1,863,384)
東	9.3 名 (-0.1)	892 件 (-90)	3,867,040 円 (-429,930)

4 訪問入浴介護事業

介護給付対象の利用者が在宅において健康的な生活と身体衛生が保てるよう、移動入浴車で居宅を訪問し、入浴介護サービスを提供した。次年度については事業所の体制整備が困難となったため休止から廃止する方向となった。

◇訪問入浴ステーション大間々

	実利用人数(平均)	延べ訪問回数	介護支援報酬額
大間々	4名(+4.0)	14件(+14)	182,360円(+182,360)

5 通所介護事業

介護給付対象の利用者を家族介護者等に代わり通所の方法により日中お預かりをし、食事や入浴等の生活支援や他の利用者等との交流やリハビリ運動等による心身機能維持、健康管理などの支援サービスを提供するとともに、家族等の介護負担軽減も図った。

◇デイサービスセンター東

実利用人数(平均)	延べ利用者数	介護支援報酬額
38.6名(-3.1)	4,149名(-463)	29,624,130円(-4,252,370)

6 総合事業

予防給付対象の利用者の方が介護保険更新に伴い、介護予防訪問介護事業・介護予防通所介護事業から総合事業に移行し、サービス提供に努めた。

◇訪問介護ステーション

	利用人数(平均)	延べ訪問回数	1人あたり平均回数	介護支援報酬額
笠懸	25.9名	1,967回	6.3回	6,238,780円
東	9.3名	553回	4.9回	2,139,890円

◇デイサービスセンター東

実利用人数(平均)	12.8名
介護支援報酬額	4,415,924円

■ 障害者居宅介護等事業

(成果)

- 1 利用者のきめ細かい要望に応えることで、自立した生活のための支援ができた。

(課題)

- 1 よりよいサービス提供を行うため、職員の更なる資質の向上が必要である。

障害者総合支援法に基づき以下の事業(介護サービス)を提供し、障がい児・者の在宅生活を支援した。

1 居宅介護事業

利用者の生活支援(家事援助)や身体介護等を提供し、利用者の希望に即したサービス提供体制の推進に努めた。精神障がい者で利用している方は時季や体調により変化が大きいですが、今年度は訪問回数が増加した。

◇訪問介護ステーション

	実利用人数 (平均)	延べ訪問回数	1人あたり 平均回数	介護支援報酬額
笠懸	9.0名 (-0.6)	859回 (-60)	8.0回 (0.0)	2,571,160円 (-232,188)
東	2.4名 (-0.6)	221回 (-112)	7.4回 (-1.8)	1,070,050円 (-326,000)

■ 施設管理運営

(成果)

1 地域活動支援センターの一部の利用者は当センターの利用を通じて就労継続支援事業所の利用に繋ぐことができた。

(課題)

- 1 地域活動支援センター並びに障害者デイサービスセンターについては、新規のセンター利用希望者が少なく、利用実績が前年と比べわずかに減少傾向にある。
- 2 相談支援事業所については、利用者一人当たりの相談件数が多く、多岐にわたる生活課題への対応が必要である。

1 親老児童館【市指定管理委託】

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、利用対象となる小学生に対し、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

[第1親老児童館(こだまクラブ・のぞみクラブ・はやてクラブ)]

○ 延べ利用人数： 23,730名 (+2,098)

○ 保護者会の開催： 2回(7月・3月)

[第2親老児童館(ひかりクラブ・やまびこクラブ)]

○ 延べ利用人数： 17,568名 (+399)

○ 保護者会の開催： 2回(7月・3月)

○ 行事等の実施[第1親老児童館・第2親老児童館]

月	行事内容
4月	・避難訓練(地震) ・お楽しみ会(対面式)
5月	・誕生会 ・避難訓練
6月	・交通安全教室 ・七夕制作 ・不審者対策訓練
7月	・七夕まつり ・誕生会 ・交流会(エコクラブト)
8月	・お楽しみ昼食会 ・映画鑑賞会
9月	・防災訓練(地震) ・誕生会 ・十五夜
10月	・お楽しみ会(感謝会) ・十三夜
11月	・誕生会 ・クリスマス制作 ・総合防災訓練
12月	・クリスマス会
1月	・交流会(親子ボウリング大会) ・お楽しみ会 ・誕生会
2月	・節分 ・防災訓練
3月	・ひなまつり ・誕生会 ・お楽しみ会(お別れ会)

2 笠懸東学童クラブ【市指定管理委託】

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、利用対象となる小学生に対し、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

[第1笠懸東学童クラブ(宙クラブ・虹クラブ)]

- 延べ利用人数： 13,539 名 (-3,259)
- 保護者会の開催： 2 回(7月・3月)

[第2笠懸東学童クラブ(星クラブ)]

- 延べ利用人数： 12,384 名 (+2,547)
- 保護者会の開催： 2 回(7月・3月)
- 行事等の実施[第1笠懸東学童クラブ・第2笠懸東学童クラブ]

月	行事内容
4月	・お楽しみ会(新入所生歓迎会) ・読み聞かせ
5月	・節句 ・誕生会 ・避難訓練 ・読み聞かせ
6月	・読み聞かせ ・不審者対策訓練 ・交流会(ボウリング大会) ・誕生会
7月	・七夕 ・読み聞かせ ・お楽しみ昼食会
8月	・夏休みの遊び ・お楽しみ昼食会 ・DVD鑑賞会
9月	・避難訓練 ・誕生会 ・十五夜 ・読み聞かせ
10月	・十三夜 ・読み聞かせ
11月	・読み聞かせ ・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・誕生会 ・クリスマス会 ・読み聞かせ
1月	・正月遊び ・読み聞かせ
2月	・節分 ・読み聞かせ
3月	・節句 ・お楽しみ会(お別れ会) ・誕生会 ・読み聞かせ

3 障害者福祉センター【市指定管理委託】

みどり市における在宅障がい児・者の地域支援機関として、地域活動支援センター及び障害者デイサービスセンターを運営した。

(1) 地域活動支援センター

利用者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう創作的活動・生産活動の機会を提供し、社会との交流を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効率的に管理運営を行った。今年は新たに鹿田山フットパス菜種まき作業にも参加、関係者との交流や活動の充実を図ることができた。

年間運営日数： 243 日

年間利用人数： [西館] 3,524 名(1日平均 14.5 名)

[東館] 962 名(1日平均 4.0 名)

年間工賃総額： 1,387,740 円

在籍者数： [西館] 20 名(平成31年3月31日現在)

[東館] 24 名(同 上)

[行事等]

月	行事内容
4月	・保護者会
5月	・あさがお種まき、納品 ・チハヤ祭
6月	・第5ブロック交流会 ・保護者会 ・じゃがいも掘り ・誕生会
7月	・運営委員会 ・つばさまつり
8月	
9月	・福祉パレード ・あいあいレクリエーション大会 ・鹿田山フットパス菜種まき ・買い物訓練行事(東) ・誕生会 ・保護者会
10月	・バーベキュー交流会 ・日帰り研修(東)
11月	・鹿田山さつま芋掘り ・保護者会 ・職員研修 ・餅つき交流行事 ・地域清掃活動 ・誕生会
12月	・クリスマス会 ・市福祉スポーツ大会 ・消防訓練
1月	・買い物訓練(初詣と食事会)(西)
2月	・運営委員会 ・日帰り研修(西)
3月	・誕生会 ・保護者会 ・避難訓練 ・じゃがいも植え

その他、ボランティアによる読み聞かせ(毎月1回)、調理実習、図書館見学、季節ごとの花見外出、スポーツ体験などを適時実施

[実習生(就業体験)受け入れ]

6月25日～6月26日 1名

10月29日～10月30日 1名

10月29日～11月1日 1名

[高校生ボランティアスクール受け入れ] ※桐生市社会福祉協議会主催事業

7月30日～7月31日 1名

[一般ボランティア体験希望者の受け入れ]

4月5日のみ 1名

4月5日～4月6日 2名

[利用希望者の実習(体験利用)受け入れ]

4月2日～4月20日(計11日) 1名

4月25日～5月30日(計5日) 1名

9月26日～10月26日(計4日) 1名

(2) 障害者デイサービスセンター

重度心身障がい者の通所の場として、養護、生活支援、日常動作訓練、食事、送迎、入浴サービスを行い、地域生活を支援し、介護を行う家族の負担軽減を目的に管理運営を行った。

年間運営日数： 243日

年間利用人数： 886名(1日平均 3.6名)

在籍者数： 10名(平成31年3月31日現在)

[行事等]

月	行事内容
4月	・機能訓練 ・保護者会
5月	・機能訓練
6月	・機能訓練 ・保護者会 ・誕生会
7月	・機能訓練 ・つばさまつり
8月	・機能訓練 ・誕生会
9月	・機能訓練 ・買い物訓練 ・保護者会
10月	・機能訓練 ・バーベキュー交流会 ・日帰り研修
11月	・機能訓練 ・保護者会 ・餅つき交流行事 ・職員研修
12月	・機能訓練 ・クリスマス会 ・誕生会 ・消防訓練
1月	・機能訓練 ・初詣外出
2月	・機能訓練
3月	・機能訓練 ・保護者会 ・誕生会

その他、ボランティアによる読み聞かせ（毎月1回）、図書館見学、季節ごとの花見見学、散歩外出などを適宜実施

[実習生受け入れ]

なし

(3) 相談支援事業所

障がい児・者の基本的な相談に応じるとともに、サービス等利用計画作成のための相談、障害支援区分認定調査業務などを行った。より迅速な相談対応と円滑な支援のため連絡体制の充実を図った。

ア. 相談支援を利用している障がい者等の人数

	実利用人数	実利用人数の障がいの内訳						その他
		身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	
障がい者	128名	7	0	19	95	12	1	4
障がい児	2名	1	0	1	0	0	0	0
計	130名 (+2)	8 (+2)	0 (±0)	20 (+1)	95 (+3)	12 (+5)	1 (±0)	4 (-3)

(内、10名は障がいの重複あり)

イ. 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
件数	511 (+92)	153 (+64)	101 (-53)	914 (+317)	121 (+22)	60 (+17)	1340 (+578)	7 (-52)	3,207件 (+985)

ウ. 支援内容

内 容	件 数
福祉サービスの利用等に関する支援	2,222 件 (+1,108)
障がいや病状の理解に関する支援	0 件 (-5)
健康・医療に関する支援	423 件 (+143)
不安の解消・情緒安定に関する支援	48 件 (-62)
保育・教育に関する支援	0 件 (±0)
家族関係・人間関係に関する支援	16 件 (-6)
家計・経済に関する支援	68 件 (-33)
生活技術に関する支援	14 件 (-62)
就労に関する支援	60 件 (-87)
社会参加・余暇活動に関する支援	14 件 (-3)
権利擁護に関する支援	35 件 (-5)
その他	288 件 (-14)
合 計	3,188 件 (+974)

4 厚生会館【市指定管理委託】

住民福祉の向上と市民活動を推進する地域施設としての施設運営に取り組み、前年度と比較して利用者が300名程度増加した。今後も大間々公民館と協調・連携しながら市民活動と地域福祉の向上に努めていきたい。

年間運営日数	302 日 (-1)
年間利用人数	28,704 名 (+344)
平均利用人数	95.0 名 (+1.4)

5 温泉施設かたくりの湯(温泉スタンド管理含む)【市指定管理委託】

住民福祉の向上及び健康増進を図ることを目的に、多くの方々にご利用いただけるよう、今後も利用者のご意見を参考にし、施設の保全に取り組みながら管理運営を行っていく。

年間運営日数	319 日 (+4)
年間利用人数	132,890 名 (-2,641)
平均利用人数	416.6 名 (-13.7)

6 老人憩の家【市指定管理委託】

地域の高齢者に対し、教養の向上やレクリエーションなどのための場を提供、また高齢者の心身における健康増進を目的に、管理運営を行った。利用人数が減少しているため、多くの住民が施設利用に寄与するよう創意工夫を図りたい。

	笠懸	大間々
年間運営日数	244 日 (+2)	308 日 (-1)
年間利用人数	10,419 名 (-185)	29,129 名 (-2,137)
平均利用人数	42.7 名 (-1.1)	94.6 名 (-6.6)
そ の 他		温泉スタンド管理

7 老人福祉センター【市指定管理委託】

地域の高齢者に対し、教養の向上や交流のための場を提供し、心身における健康増進が図られることを目的に管理運営を行った。多様なニーズに対応した講座や大会を実施することにより新たな利用者の参加が得られた。安心・安全な施設づくりに取り組みたい。

年間運営日数	304日(±0)
年間利用人数	19,219名(-1,461)
平均利用人数	63.2名(-5.0)
その他	詐欺被害・交通安全講座 1回 25名

8 高齢者生活福祉センター【市指定管理委託】

高齢等のため、居宅において独立して生活することに不安のある一人暮らしの方等に対し、一定の期間の住居を提供し、自立生活の支援が図られることを目的に管理運営を行った。地域との繋がりをつくることを目的に地域情報の提供を行い、安心・安全な施設づくりに努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
既入居者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
新規入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
退出(退居)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末在籍	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0

■ その他

1 指導機関等による監査、実地指導等

(1) 放課後児童健全育成事業実地検査

平成31年 3月20日	第1笠懸東学童クラブ
-------------	------------

(2) 社会福祉法第56条第1項に基づくみどり市による指導検査

平成31年1月25日	法人運営及び事業関係検査
------------	--------------

2 視察等の受け入れ

(1) 温泉施設かたくりの湯

平成30年 6月11日	笠懸北小学校4年生
平成30年 6月14日	笠懸小学校2年生

3 後援・共催

期 日	項目・事業	主催団体
平成30年7月19日～ 12月20日	大間々地域シニア教養講座	みどり市大間々公民館
平成30年7月24日～ 12月19日	第23回みどり市笠懸地域高齢者 大学	みどり市笠懸公民館
平成30年11月14日	第31回チハヤチャリティーゴル フコンペ実行委員会	チャリティーゴルフコン ペ実行委員会
平成30年11月23日	大日本プロレス植木嵩行デビュー5周年・ 浜亮太デビュー10周年記念社会福祉チャリ ティー大会	有限会社四ツ葉工芸
平成30年11月26日	平成30年度多職種連携合同研修 会	桐生市医師会、在宅医療 介護連携センター桐生